

要求水準書 別紙5

オープンブック方式、コスト＋マネジメントフィー方式の考え方

愛知芸術文化センター全体の維持管理業務、愛知県芸術劇場の運営業務及び愛知芸術文化センター全体の活性化に関する業務の支出額については「オープンブック方式」による情報開示＋「コスト＋マネジメントフィー方式」によって算定・確定させる。

- ① 業務原価＋マネジメントフィー等の配分ルールを事前に明確化
 - ・業務原価
 - ・個別専門業者、物品納品業者等への支払い
 - ・現場配置担当者の人件費等の支払い
 - ・マネジメントフィー
 - ・施設維持管理を統括する事業者（以下、「施設維持管理統括企業」という。）のマネジメントに係る業務経費

※マネジメントフィーの比率については事前に設定し、県と合意すること。

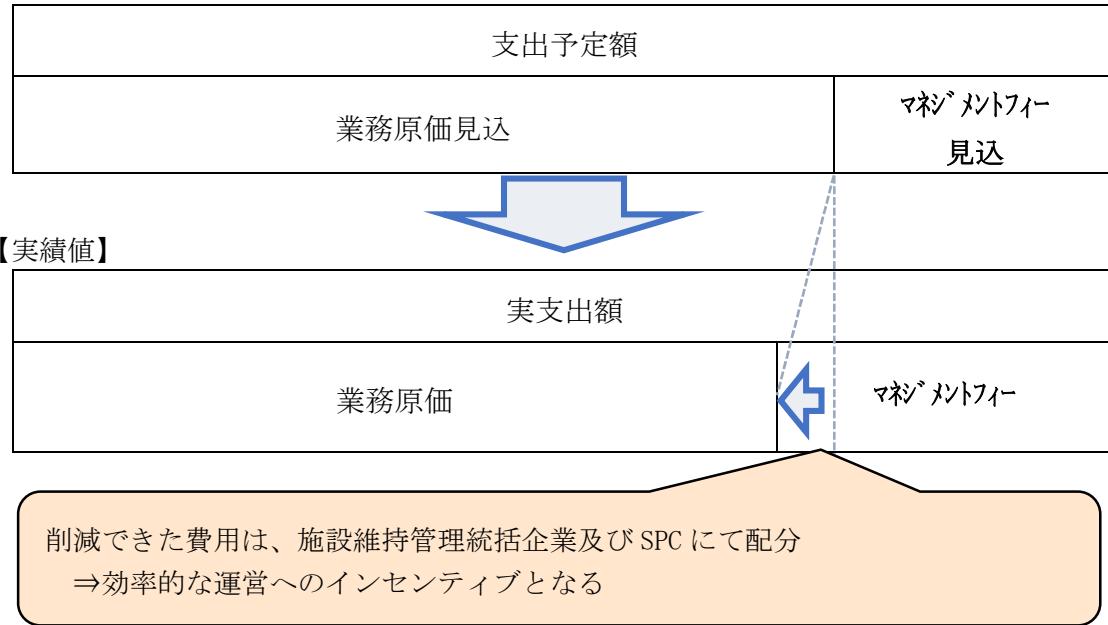
- ② 単年度収支計画において支出予算を計上（業務原価＋マネジメントフィー等）
- ③ 年度終了後、オープンブック方式による情報開示を踏まえ、以下のようないくつかのルールで経費を算定・確定
 - (A) 適正な範囲で調達費用の経費削減を行った場合：
経費削減分に対して、施設維持管理統括企業にはマネジメントフィーを追加計上可能とする。なお、経費削減分の一部については、事業者に配分できるものとする。配分率については、事前に設定し、県と合意すること。
 - (B) 調達費用が当初予定より超過した場合：
経費超過分について、マネジメントフィーより減額する。
- ④ 経費削減及び経費超過については、以降の単年度収支計画に反映させる。

要求水準書 別紙5

■施設維持管理業務に係る「オープンブック方式」+「コスト+マネジメントフィー方式」による費用算定イメージ

(A) 適正な範囲で調達費用の経費削減を行った場合

【当初の単年度収支計画】



(B) 調達費用が当初予定より超過した場合

【当初の単年度収支計画】

